

# 新型コロナウイルス感染症



# 対応フロー

コロナに負けるな!

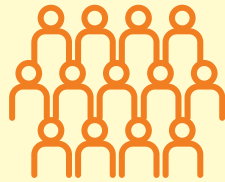
利用者ケア編

いま、できることを!

## 「3つの密」を避ける!



換気の悪い  
密閉空間



多数が集まる  
密集場所



間近で会話や発声をする  
密接場面

## 職員・利用者ともに手洗い、消毒、 咳エチケット等を徹底!



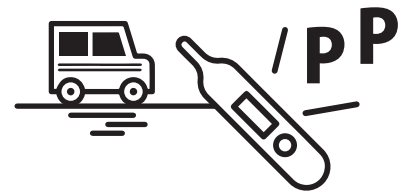
## 1ケア1手洗い!

ケアの開始時と終了時に液体石鹸による手洗いか消毒用エタノールによる手指消毒をする。手指消毒の前に目・口・鼻を触らない。



## 送迎前に検温。

送迎前に体温を測っていただき、  
発熱があればご利用を控えていただく。



## 送迎時には換気、 手すり等は消毒!

送迎時には窓を開ける等の換気をし、  
接触頻度の高い手すり等を消毒する。



## 「感染かも」と思ったら連絡・相談!

利用者の体温が 37.5 度以上が 2 日以上続く等の場合、  
帰国者・接触者相談センターへ連絡する。

37.5度以上が2日以上!

# 利用者ケア編

帰国者・  
接触者 相談センターへ連絡!

感染されているかも?と思ったら

入院  
(センター連絡後、状態次第で)

## 1 職員も分けて対応。

感染が疑われる利用者への対応は、可能な限り職員も分けて対応する。このような利用者のケアには使い捨て手袋とサージカルマスク等を用いる。

## 2 ゴーグルとガウン。

飛沫感染のリスクがある場合は、必要に応じてゴーグル、ガウン等を着用する。

## 3 個室へ移す。

感染が疑われる利用者は個室に移す。  
個室が足りない場合は、症状のない濃厚接触者を同室とする。

## 4 ベッド間隔2m。

個室管理ができない場合は、濃厚接触者にマスクの着用をしてもらい、ベッドの間隔を2m以上あける、ベッドの間をカーテンで仕切る等の対応を実施する。

## 5 換気を十分に。

部屋の換気を1、2時間ごとに5～10分間行う(共用スペースも)。

## 6 専用体温計。

体温計はその利用者専用とする。他の方にも使う場合は消毒用エタノールで清拭する。

## 7 取っ手などは清拭。

トイレのドアノブや取っ手等は消毒用エタノールで清拭する。

## 8 手指衛生を徹底。

やむなく同室となる濃厚接触者等が部屋を出る時はマスクを着用し、手洗い、アルコール消毒による手指衛生を徹底する。

## 9 記録を準備。

感染者が発生した場合に、積極的疫学調査の協力の観点から、症状出現後の接触者リスト、利用者のケア記録、直近2週間の勤務表、施設に出入りした者等の記録を準備し、提供できるようにしておく。

## 10 適切な感染防護。

濃厚接触者のうち有症状者については、リハビリテーション等は実施しない。無症状者については、利用者は手洗い、アルコール消毒による手指消毒を徹底し、職員は適切な感染防護を行ったうえで、個室又はベッドサイドで実施することも可能。



### 食事の提供

- 食事介助は原則個室。
- 食事前に利用者には液体石鹸による手洗い等実施。
- 使い捨て容器か、濃厚接触が疑われる利用者のものを分けた上で、熱水洗浄が可能な自動食器洗浄機を使用。
- まな板、ふきんは洗剤で十分洗って熱水消毒するか、次亜塩素酸ナトリウム液に浸漬後、洗浄する。



### 排泄の介助等

- 利用するトイレの空間は分ける。
- おむつ交換の際は、手袋、使い捨てエプロンを着用。
- おむつは感染性廃棄物として処理を行う。(※1)



### 清拭・入浴の介助等

- 介助が必要な場合は、原則として清拭で対応する。清拭で使ったタオル等は熱水温機(80度10分間)で洗浄後乾燥を行うか、次亜塩素酸ナトリウム液浸漬後、洗濯、乾燥を行う。
- 個人専用の浴室で介助なく入浴できる場合は入浴でも可。その際、必要な清掃等を行う。



### リネン・衣類の洗濯等

- リネンや衣類は熱水洗濯機(80度10分間)で処理し、洗浄後乾燥させるか、次亜塩素酸ナトリウム液浸漬後、洗濯、乾燥を行う。
- 当該利用者が鼻をかんだティッシュ等のゴミ処理は、感染性廃棄物として処理を行う。(※1)

入院(基本的に高齢者は入院により対応することが想定されている。)



※1 特養等高齢者福祉施設においては感染性廃棄物とならないが、感染防止の観点から、ごみに直接触れない、ゴミ袋等に入れて封をして排出する、捨てた後は手を洗う等の感染防止策を実施すること。

なお、介護老人保健施設等「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 別表第一の4の項」に記載の施設は、感染性廃棄物として処理することが必要となる。